学校番号	3020B

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新編現代文Ｂ（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・2 年生では 1 年生で身につけた基礎的な国語力を活用し、読解力を自主的に深めること。
・様々なジャンルの文章に対して「読む能力」を向上させるとともに、様々な「書く能力」を磨いていくこと。
・知識の獲得・深化に加えて、それを活用して思考する能力の向上に努めること。

2　学習の到達目標

・文章を読解する力を養い、読解力をさらに深める。
・評論的文章に関しては、論旨の理解とともに、それに対してどのように考えるかを表現すること。
・文学的文章・詩歌に関しては、文学的表現に触れ、言語感覚を豊かにするとともに、作品の中で描かれた人物の人生と自らのものを比較し、ものの見方・感じ方を豊かにすること。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c：書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重し、かつ適切な使用を図ろうとする。	場面・相手に応じて国語を的確に用いて話し、相手の話を的確に聞きとり、話し合ったりする中で、相手の意見を踏まえた上で自分の考えを深めている。	相手や目的、意図に応じ、適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章の種類に応じて読み方を変え、内容を的確に読み取り、本文の内容を踏まえ、自分の考えを発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート） 図書館の利用	行動の観察（発表などの仕方、内容の評価）	記述の確認及び分析（ノート、ワークシート）	記述の確認及び分析（ノート、ワークシート） 定期考査、小テスト	行動の観察（発表などの仕方、内容の評価） 記述の確認 （ノート、ワークシート） 定期考査 小テスト
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	随想	【近代以降】 「さくらさくらさくら」	○			◎	○	ａ：論旨を的確に読み取ろうとしている。 ｄ：論旨を的確に読み取れる。 ｅ：個性的な表現を味わい、語彙を豊かにしようとしている。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｄ：記述の確認及び定期考査 ｅ：小テスト、記述の確認
前期	小説の楽しみ	【近代以降】 ストーリーの「語られ方」	○				◎	ａ：小説の構成について理解を深めようとしている。 ｅ： 文章の構成を理解し、区別できている。	ａ：記述の確認 ｅ：定期テスト
前期	小説１	【近代以降】 「みどりのゆび」	○			◎	○	ａ：情景や心理描写に注意しながら、描かれた世界を的確に捉えようとしている。 ｄ：情景や心理描写に注意しながら、描かれた世界を正確に捉えている。 ｅ： 文章の形態や文体の違いによる特色を理解している。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｄ：記述の確認、小テスト及び定期考査 ｅ：定期考査

前期	小説1	【近代以降】 「ナイン」	○		◎	○		ａ： 作品の構成について、「みどりのゆび」との差異をつかみ取ろうとしている。 ｃ：作品の構成の違いが与える印象の違いを文として表現できる ｄ： 場面展開や登場人物の心情などを読みとれている。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｃ：記述の確認及び分析 ｅ：定期考査
後期	小説3	【近代以降】 「こころ」	○	○		◎		ａ：場面の展開や人物の性格・心理の描写を的確に読み取ろうとしている。 ｂ：作中人物の印象などについて、説明できる。 ｄ：場面の展開や人物の性格・心理の描写を的確に読み取れている。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｂ：行動の観察 ｄ：記述の確認及び定期考査
後期	短詩形文学を味わう	【近代以降】 「竹」「永訣の朝」	○			◎	○	ａ：韻文における表現効果について理解を深めようとしている。 ｄ：韻文における表現効果の理解を深め、詩歌の情景を読みとれている。 ｅ：韻文の形態の違いによる特色を理解している。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｄ：記述の確認及び定期考査 ｅ：小テスト、定期考査

後期	随想	【近代以降】 「物語の外から」	○	◎	◎	○		ａ：物事の多様な焦点の当て方がある事を理解しようとしている。 ｂ：話合いの中で、自らの思考を深めることができている。 ｃ：話し合いに向けた原稿を書くことができている。 ｄ：キーワードにもとづいて内容を読解できている。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｂ：行動の観察 ｃ：記述の確認 ｄ：記述の確認、定期考査
後期	小説１	【近代以降】 「山月記」	○			◎	○	ａ：人間の様々な姿を理解しようとしている。 ｄ：作中人物の心情を読解したうえで、自らの思考と比較し、思考を深めている。 ｅ：唐時代の官制や、それに伴う社会構造を理解している。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｄ：記述の確認及び定期考査 ｅ：小テスト、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　ｅ：知識理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。